泥棒野郎 (1969)

TAKE THE MONEY AND RUN

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 85分

初公開日 1971/03/20

公開情報 松竹映配

【解説】

気が弱く見た目も弱々しいバージルは幼少の時から悪事を働いていたが、やはり間抜けな失態を演じて幾度も投獄され、それでも懲りずに悪の道を稼業としていた。そんな彼はある日、美女ルイーズと出会う。そして身分を偽り彼女をモノにするが、またしても強盗で刑務所行きとなる。しかし、ルイーズは彼を見捨てなかった。やがてバージルは脱走に成功しルイーズと再会、結婚して堅気の生活を送ることに。ところが落ち着いた幸せな暮らしも長くは続かず、ひよんなことから再び犯罪に手を染めるハメになってしまう。こうして、罪を重ねては家族を連れた逃避行を繰り返していくバージルだったが…。

宝石よりも懲役を望む、ハクをつけた一心のチンケな悪党をアレンが演じ、ドジを踏みながらも前科53犯、懲役も百十年にめでたくかさむという、楽天的なハチャメチャ・コメディ。後の「カメレオンマン」でより優れた達成をみる、ナレーション導入のセミ・ドキュメンタリー調で展開していくのだが、その辺のもっともらしさを吹き飛ばす、おバカな視覚ギャグ満載で、暗黒映画のパロディもふんだん。ジョークも一直線なものが多く分かり易い。とにかくそのテンポの良さが命の、彼の初期の傑作のうちの一つだ。

【クレジット】

監督	ウディ・アレン	Woody Allen	
製作	チャールズ・H・ジョフィ	Charles H. Joffe	
製作総指揮	シドニー・グレイジャー	Sidney Glazier	
脚本	ミッキー・ローズ	Mickey Rose	
	ウディ・アレン	Woody Allen	
撮影	レスター・ショア	Lester Shorr	
音楽	マーヴィン・ハムリッシュ	Marvin Hamlisch	
出演	ウディ・アレン	Woody Allen	バージル
	ジャネット・マーゴリン	Janet Margolin	ルイーズ
	マルセル・ヒライヤー	Marcel Hillaire	
	ジャクリン・ハイド	Jacquelyn Hyde	
	ロニー・チャップマン	Lonny Chapman	
	ルイーズ・ラサー	Louise Lasser	
	ジャン・マーリン	Jan Merlin	